



## メルセデス・ベンツ、 2017年新車販売台数で過去最高記録を更新

- ・ 年間新車販売記録を5年連続で更新
- ・ 3年連続で国内純輸入車 No.1、5年連続でプレミアムブランド No.1 を獲得
- ・ スマートは2年連続で過去最高の販売台数を記録<sup>1</sup>

メルセデス・ベンツ日本株式会社(以下MBJ、社長:上野 金太郎、本社:東京都品川区)は、メルセデス・ベンツの2017年新車販売台数<sup>2</sup>が、前年比1.2%増の6万8,215台(2016年:6万7,378台)となったことを発表しました。これによりメルセデス・ベンツは、2013年より5年連続で年間販売台数過去最高記録を更新し、国内で販売されている純輸入車として3年連続で首位<sup>3</sup>を、5年連続でプレミアムブランド No.1<sup>3</sup>を獲得しました。また、メルセデス・ベンツの最新テクノロジーを惜しみなく投入したシティコンパクト、スマートは、2年連続で過去最高<sup>1</sup>となる4,638台(2016年:4,508台)を記録しました。

MBJは2017年、お客様の多様なライフスタイルにお応えすべく、年初より続々と新型モデルを導入しました。フルイヤーを迎えた中核モデル「Eクラス」をはじめ、8月に発表した旗艦モデル「Sクラス」、SUVモデル<sup>4</sup>の販売が特に好調でした。さらに、主力モデル「Cクラス」、コンパクトモデル<sup>5</sup>が堅調に台数を伸ばし、年間販売記録の更新に大きく貢献しました。MBJの商品構成は、32車種166モデル<sup>6</sup>まで広がっています。

また、ダイムラーの中長期戦略「CASE」の柱の1つとして、デジタルカーライフを提供する先進的なテレマティクスサービス「Mercedes me connect」の導入や、オンラインでの車両販売「Mercedes-Benz Online Store」の開始、世界初のAMG専売店「AMG 東京世田谷」、日本初のsmart専売店「smart center 京都, the garden」の開設など、様々なブランド体験を通して、お客様にご期待以上の満足感を得て頂く為の新しい取り組みに注力しました。

MBJ 社長の上野 金太郎は、次のように述べています。「MBJ は 2017 年、商品力強化はもちろん、お客様の心の高まりや満足を創り出すための多くのチャレンジをし、強いご支持を頂戴することが出来ました。2018 年も引き続き、先進性のある魅力的な商品の展開と、最高のブランド体験“Best Customer Experience”の提供を通じて、メルセデス・ベンツおよびスマートの魅力をお伝えし、全国の正規販売店と一丸となって、皆様に選ばれ、最も愛されるブランドを目指して更に邁進してまいります。」

<sup>1</sup>軽(現在販売終了)を除く。<sup>2</sup>乗用車(新規登録ベース)、日本自動車輸入組合による <sup>3</sup>自社調べ <sup>4</sup>GLA GLC GLC クーペ、GLE GLE クーペ、GLS、G クラス(7 車種) <sup>5</sup>A クラス、B クラス、GLA クーペ、GLA シューティングブレーク、GLA (5 車種) <sup>6</sup>2018 年 1 月 11 日現在